

令和4年度 厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業  
いばらき障害者芸術文化活動支援センター準備室

第2回福祉とアーティストのシンポジウム

THE 2ND SYMPOSIUM ON WELFARE & ART

い  
ま  
起  
さ  
り  
ま  
じ  
ら  
さ  
い  
ど

HAPPENING NOW IN IBARAKI  
2022.12.10 SAT 14:00-16:30 ONLINE

主催：南東北・北関東広域支援センター（NPO 法人 エイブル・アート・ジャパン）  
いばふく（いばらき中央福祉専門学校）/ ROKUROKURIN 合同会社 後援：茨城県



## 第2回福祉とアートのシンポジウム

本年度始動した、いばらき障害者芸術文化活動支援センター準備室では、「福祉」と「アート」をキーワードに、継続的な学びの場やフラットなネットワークをつくっています。今回は、県内でアートを切り口に活動を展開する2団体に加え、福島県からゲストをお迎えし、その哲学について伺います。「福祉」と「アート」がどう時、起こる「何か」を目撃してください。

2022年12月10日(土)  
14:00 - 16:30 (13:30開場)

### 参加方法

3通りの方法がございますので、以下より選んでご参加ください。

#### ① Zoom 参加 | 先着 100名

[質疑応答など、登壇者とのコミュニケーションが可能です]  
[手話の同時通訳は、Zoom 参加でのみご覧いただけます]

#### ② YouTube 参加 (※視聴のみ) | 定員なし

#### ③ 上映会場 参加 (※視聴のみ) | 先着 20名

[視聴環境がない方は、こちらの会場で配信をご覧ください]  
会場：茨城県総合福祉会館 〒310-0851 水戸市千波町 1918  
お問い合わせ：029-244-4545

参加対象：どなたでも

参加費：無料

※登壇者はオンライン参加となります。会場で行うシンポジウムではありません。

Google フォームまたはメールよりお申し込みください。

お申し込み後、メールで参加方法の詳細をお送りいたします。

#### 【Google フォーム】

QR コードを読み取り、お申し込みください。

URL : <https://forms.gle/6dR5PX6PJg7Bhdy67>



#### 【メール】

件名に「第2回シンポジウム」と入力し、

氏名・連絡先・参加方法・人数を明記の上、お申し込みください。

E-mail : [hello@welfareart.net](mailto:hello@welfareart.net)

※参加方法についてのご相談は、お電話でも受け付けています。  
お気軽にお問い合わせください。電話：080-6862-5402 (小堀)

### お申し込み

い  
る  
HAPPENING NOW  
IN IBARAKI

い  
ま  
起  
き  
て

い  
ば  
ら  
き  
で



ゲスト

### かとう さとこ Satoko Kato

あとりえず〜む/のっばらかふえ/のっばらの扉

株式会社ひとは 代表

茨城県水戸市



色彩心理研究家の末永蒼生氏の元でアートセラピーを学び、国際アートセラピー色彩心理協会認定「色彩心理士」の資格取得。30年間、心にも身体にもバリアフリーな絵画教室を開催。現在、アートサポート事業の会社(株)ひとはを設立。アートと福祉、社会との接点を広げる活動も続けている。学校・生涯学習課主催講座・職場等で後援会やセミナー多数。

### 岩田 祐佳梨 Yukari Iwata

NPO 法人 チア・アート

NPO 法人 チア・アート 理事長

茨城県つくば市



2011年より筑波メディカルセンター病院で、医療と芸術をつなぐアート・デザインコーディネーターに就任。実践をおこないながら、医療現場におけるアート・デザイン活動のマネジメントに関する研究を行う。博士(デザイン学)。2017年にNPO法人チア・アートを設立し、茨城県を拠点に地域の医療機関、教育機関、作り手と連携しながらアート・プロジェクトに取り組んでいる。

### 小林 竜也 Tatsuya Kobayashi

はじまりの美術館

社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館 企画運営担当

福島県猪苗代町



1984年栃木県生まれ、福島県在住。2007年立教大学コミュニティ福祉学部卒業。会社員、飲食業などを経て、2012年に福島県猪苗代町に移住。開館前から行われていた「寄り合い」に参加することではじまりの美術館と出会い、2014年より現職。企画運営担当として展覧会やイベントの企画運営などを行う。支援センター事業では県との窓口を担当。

障害者芸術文化活動支援センターとは

厚生労働省では、障害のある人たちの芸術文化活動の振興を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に、自治体や民間団体と協力し、「障害者芸術文化活動普及支援事業」に取り組んでいます。障害のある人が芸術文化を享受し、多様な活動を行うことができるよう、支援拠点として「障害者芸術文化活動支援センター」を都道府県に設置し、絵画や陶芸などの美術分野、演劇や音楽、舞踊などの舞台芸術に関する多様な支援事業を展開しています。(障害者芸術文化活動支援事業ウェブサイトより)

茨城県の支援センター [準備室] では、障害があるないに関わらず、表現する自由について多様な立場のみなさんと話し合い、実践する機会や仕組みを創出したいと考えています。

ファシリテーター



### ミヤタユキ Yuki Miyata (準備室メンバー)

1985年水戸市生まれ、常陸太田市在住。ROKUROKURIN 合同会社代表。東京藝術大学大学院修了。自宅を「六六鱗」と名付け、国内外アーティストの滞在、プロジェクトの拠点などとしながら、全国各地で活動している。県内の主な活動に「SCOI-水府コイノボリプロジェクト-」、茨城県北芸術祭 KENPOKU ART 2016 など。編集・共著に、「地域アートはどこにある？」(堀之内出版, 2020)

司会・進行



### 小堀 幸子 Yukiko Kobori (準備室メンバー)

1968年水戸市生まれ、笠間市在住。東京学芸大学大学院修了。美術教科書などの編集を経て、2011年より社会福祉法人 北養会にて広報業務を行う。2016年より福祉職の人材確保・定着を目的としたプロジェクト「いばふく」に関わり、イベントや研修の企画・広報を担当。美術や音楽を用いた福祉の魅力発信を行う。2019年よりNPO法人ちいきの学校デザイン室を兼任。

作品紹介



### NPO 法人 エイブル・アート・ジャパン

「社会の芸術化、芸術の社会化」をキーワードに活動するNPO法人。平成29年度から障害者芸術活動支援センター@宮城(愛称:SOUP)を開設、令和3年度からは同事業の南東北・北関東広域支援センターを担当。

今回のチラシ(外面)のイメージに使用した作品画像は、あとりえず〜むに通う河野悠希さんの作品です。自身の記憶だけを頼りに、紙粘土を用いてキャラクターや建物、乗り物などの造形物を数多く手がけています。細かなパーツまで、驚くほどに再現されています。ひとつひとつ自分で色付けを行い、製作しています。



いばらき  
障害者  
芸術文化  
活動支援  
センター

準備室

【お知らせ】

「福祉」と「アート」に関する web サイトを公開中です。茨城県内の魅力的な活動のご紹介や、イベントのお知らせなども発信しています。紹介したい施設や活動、人など、みなさまからの情報もお待ちしています！ [welfareart.net](http://welfareart.net)

【お問い合わせ】

いばふく（いばらき中央福祉専門学校） 所在地：茨城県水戸市鯉淵町 2222-2  
電話：080-6862-5402（担当：小堀） / E-Mail：[hello@welfareart.net](mailto:hello@welfareart.net)

令和4年度 厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業

主催 | 南東北・北関東広域支援センター（NPO 法人 エイブル・アート・ジャパン）

いばふく（いばらき中央福祉専門学校）

ROKUROKURIN 合同会社



後援 | 茨城県

作品画像（外面）：河野悠希「ゆめのくに」[2020-2022] あとりえず〜む / デザイン：津田翔平

WELFAREART.NET